

反映状況票

(単位:百万円)

府省名	調査事業名	調査主体	取りまとめ財務局	2年度予算額	3年度予算案	増▲減額	反映額
農林水産省	(23) HACCP対応等のための施設改修等支援経費	本省	—	1,472	970	▲502	—
事案の概要	輸出拡大を目指す水産加工・流通業者に対し、水産物輸出に必要な対米・対EU HACCP (※1) 基準に対応するための水産加工・流通施設の改修等を支援するものである。(※2) (※1) HACCP (ハサップ: Hazard Analysis and Critical Control Point) とは、原材料の受入れから最終製品までの各工程ごとに、微生物による汚染、金属の混入などの危害要因を分析した上で、危害の防止につながる特に重要な工程を継続的に監視・記録するものである。 (※2) 本事業の予算は、平成30年度まで水産庁に計上されていたが、令和元年度補正予算から食料産業局に計上されている。						

調査結果の概要及び今後の改善点・検討の方向性

1. HACCP認定取得状況について

農林水産省は、事業者の取組の実効性を高め、事業の効果を適切に発現させるため、事業者のHACCP認定取得状況についての的確に把握し、取得予定時期を超過した要因について分析した結果を審査項目に反映する等の見直しを行うべきである。

2. HACCP認定取得後の輸出状況について

農林水産省は、事業の目的を達成するため、事業者が輸出目標を達成できるよう、これまで実績が低調となった要因を分析し、的確な指導を行うためのマニュアルを整備する等により、現在の事業スキームにおいて事業者の点検を行う都道府県が適切な措置及び必要な改善措置の指導を講ずるための仕組みを構築すべきである。

反映の内容等

1. HACCP認定取得状況について

HACCP認定取得のための必要書類の作成や不備の修正に時間を要したり、社内体制が脆弱なため社内教育に時間を要するなど、事業者の実施体制が原因と思われる理由による遅れが最も多い状況となっている。
このため、HACCP研修受講者を含むHACCPチーム (HACCPの運用推進を中心となって行うチーム) の編成を採択要件とするとともに、事業者が都道府県等に提出する事業実施状況報告においてHACCPチームの活動状況を確認するため、実施要綱の見直しを行うこととした。

2. HACCP認定取得後の輸出状況について

HACCP認定取得後、目標国への輸出実績が無い事業者における主な理由は、海外の豊漁による価格競争力の低下や価格面・商品内容などの要因による商談不成立などが挙げられ、これらの理由は今後も起こり得るものであり、成果目標達成の支障となる恐れがある。
このため、報告対象年度の輸出実績が計画額を下回った場合における都道府県知事の点検事項や改善措置等の実施について定める通知を发出することとした。